

報道発表資料

令和7年1月10日
独立行政法人国民生活センター

2024年度消費生活相談員資格試験 最終結果

2024年度消費生活相談員資格試験を実施した結果、323名を合格者として決定しました。

1. 第1次試験の結果

2024年10月19日（土）に、全国22か所^{※1}において、第1次試験（マークシート式試験及び論文試験）を実施しました。論文試験については、マークシート式試験が基準^{※2}を超えた場合のみ採点対象とし、マークシート式試験及び論文試験がそれぞれ基準を満たした場合^{※2}に第1次試験合格としました。その結果は以下の通りです。

受験申込者数	927名
第1次試験の実受験者数	815名
第1次試験の合格者数（合格率 ^{※3} ）	338名（41.5%）

※1：札幌市、青森市、仙台市、秋田市、水戸市、さいたま市、東京23区、川崎市、富山市、静岡市、名古屋市、京都市、姫路市、松江市、広島市、高松市、高知市、福岡市、長崎市、熊本市、宮崎市、那覇市

※2：第1次試験のうち、マークシート式試験の通過者は、160点満点中104点以上の得点があった者、論文試験は100点満点中60%以上の得点があった者

※3：第1次試験の実受験者数に対する第1次試験の合格者数の割合

2. 第2次試験の結果

2024年12月14日（土）、15日（日）に全国5か所^{※4}において、第2次試験（面接試験）を実施しました。2名の面接委員の評価（5～1の5段階）の合計点が5点以上の者を合格としました。その結果は以下の通りです。

第2次試験の実受験者数 ^{※5}	270名
第2次試験の合格者数（合格率 ^{※6} ）	257名（95.2%）

※4：12月14日（土）川崎市、福岡市
15日（日）札幌市、名古屋市、大阪市

※5：「第1次試験合格者数（338名）」－「現職の消費生活相談員など申請により第2次試験を免除された者（66名）」－「第2次試験の欠席者（2名）」

※6：第2次試験の実受験者数に対する第2次試験の合格者数の割合

3. 最終結果

323名が、2024年度消費生活相談員資格試験に合格しました。

最終合格者数 ^{※7} （最終合格率 ^{※8} ）	323名（39.7%）
---	-------------

※7：第2次試験の合格者（257名）と、第1次試験の合格者で第2次試験が免除された者（66名）が本試験の最終合格者となる

※8：最終合格者数（323名）÷第1次試験・第2次試験を通じた実受験者数（813名）

4. 2024年度都道府県別合格者数と累計合格者数

（名）

都道府県	2024年度合格者数	累計合格者数 2016～2024年度	都道府県	2024年度合格者数	累計合格者数 2016～2024年度
北海道	14	106	滋賀県	7	57
青森県	3	23	京都府	3	54
岩手県	2	32	大阪府	14	114
宮城県	8	69	兵庫県	16	155
秋田県	1	18	奈良県	1	35
山形県	1	31	和歌山県	10	53
福島県	5	38	鳥取県	1	14
茨城県	15	136	島根県	2	34
栃木県	2	61	岡山県	5	41
群馬県	4	56	広島県	2	62
埼玉県	22	180	山口県	5	43
千葉県	12	186	徳島県	8	62
東京都	39	394	香川県	0	11
神奈川県	25	222	愛媛県	2	31
新潟県	5	44	高知県	0	21
富山県	7	40	福岡県	10	84
石川県	5	31	佐賀県	6	54
福井県	2	30	長崎県	4	41
山梨県	3	21	熊本県	3	60
長野県	4	76	大分県	3	74
岐阜県	7	64	宮崎県	4	46
静岡県	17	154	鹿児島県	3	37
愛知県	8	164	沖縄県	1	23
三重県	2	68	（海外）	0	0
※合格時の居住地			合計	323	3,450